第 11 講　幕藩体制の確立と武断政治
PART6「4 つの口」

Chapter 1　中国・オランダとの通商と朝鮮との通信

目標
中国・オランダとの交易場所について知ろう。
朝鮮通信使の幕府側から見たメリットは何だろう？

1　中国・オランダとの長崎貿易

①**中国**（明→清へ）

1616 年，中国東北部の女真〔満洲族〕のヌルハチが後金を建国。

その死後の 1636 年，

ホンタイジが内蒙古を従え国号を〔1　　　〕と改め朝鮮を朝貢国とした。

※漢族の明は，農民反乱軍により 1644 年に滅亡。

　北京に遷都した清は，中国史上最大の帝国となった。

A　1689 年以降は長崎郊外の**唐人屋敷**に居住

　唐船風説書を提出，長崎奉行が唐通詞を通じて聴取した。

B　貿易品

　清は海禁政策を解除したので貿易額は増大。

　あ　輸出品⇒**銀・金・銅・海産物**（**俵物**〔いりこ・ほしあわび・ふかひれ]）など

　い　輸入品⇒**生糸**・絹織物・書籍・西欧や南方の産物など

②**オランダ〔和蘭・阿蘭陀〕**

A　〔2　　　〕の**オランダ商館**が貿易を独占

　東インド会社〔VOC〕の本部はインドネシアのバタビア〔ジャカルタ]。

B　〔3　　　　　　〕による海外情報の獲得

　オランダ船の入港ごとに，**オランダ商館長〔甲比丹〕**が長崎奉行を通じて

　老中に提出。原文の翻訳には**オランダ通詞〔長崎通詞〕**があたった。

　※ 1633 年から，**オランダ人の江戸参府**が制度としてほぼ毎年行われた。

C　貿易品

　あ　輸出品⇒**銀・金**・銅・有田焼〔伊万里焼]・漆器・樟脳〔カンフル〕など

　い　輸入品⇒**生糸**・絹織物・綿織物・毛織物・薬品・砂糖・書籍など

③貿易の推移

1655 年　糸割符制度を廃止し競争入札による相対自由貿易に

1685 年　糸割符制度を復活

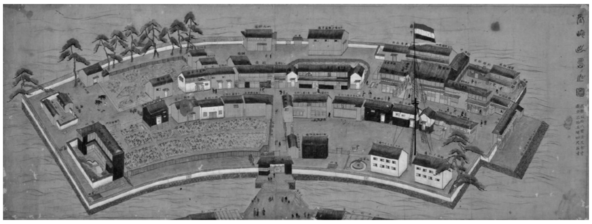
初めて長崎貿易の輸入額を制限（「定高貿易仕法」）

1689 年　長崎郊外に**唐人屋敷**を建設

※清国人の居住地を限定・管理することでトラブルや抜荷を回避しようとした。

1715 年　海舶互市新例〔長崎新令・正徳新令〕で貿易を制限

※中国〔清〕は年 30 隻・銀 6000 貫，オランダは年 2 隻・銀 3000 貫。



出島

2　朝鮮との通信

①貿易の再開

1609 年，朝鮮〔李朝〕と**対馬藩宗氏**が**己酉約条〔慶長条約〕**を結び貿易再開。

日本からの使節は将軍と宗氏に限られ，宗氏が貿易を独占して**朝鮮人参**や**木綿**を輸入。

※釜山に倭館が設置され，年 20 隻の歳遣船を派遣。

※対馬藩は耕地に恵まれず，貿易の利潤が藩士の知行代わりとなった。

②［4　　　　　　　　　　］（1607 ～ 1811 年，計 12 回）

A　目的

当初は朝鮮侵略時の捕虜返還要求（回答兼刷還使，3 回）。

その後，**新将軍就任の慶賀**（通信使，9 回）が主な名目。

B　待遇

対馬藩が同行し，幕府は丁重に応対。

※文化交流のみでなく，将軍の対外的権威誇示の場でもあった。

まとめ

中国は唐人屋敷，オランダは出島を拠点に貿易をした。

朝鮮通信使は将軍の対外権威誇示の場ともなった。

Chapter 2　琉球・蝦夷地との関係

目標
薩摩藩の琉球支配について知ろう。
松前藩の蝦夷地統治について知ろう。

1　琉球王国との関係

家康は当初，対明交渉の仲介を担わせようとしたが，琉球王国はこれを拒否。

①［1　　　　　　］の支配（**1609年〜**）
幕府の許可を得た**島津家久**が琉球に侵攻，首里城を落とし国王**尚寧**を服属させる。
※与論島以北は薩摩藩領となり，8万9000石余りの琉球の総検地も2年後に完了。
②日中両属
独立王国の形式を残し，中国（明のち清）の冊封体制下の**朝貢貿易も継続させる**。
※薩摩藩は中国産品入手ルートにするとともに，特産の**砂糖**やウコンを国内に転売。
※清には毎年進貢船を派遣，清からは冊封使が来琉した。
③琉球からの使節（計20回の「江戸上り」には薩摩藩が同行）
異国風の服装・髪型などを強制。
沿道の人々に「異国人」としての琉球人が将軍に入貢しているかのように見せた。
A　［2　　　　　　］
将軍の代替わりごとに江戸に派遣。
B　［3　　　　　　］
国王の代替わりごとに江戸に派遣。
C　『中山世鑑』の編纂（17世紀半ば）
向象賢〔羽地朝秀〕による琉球王国初の正史。

2　蝦夷地との関係

①［4　　　　　　］の統治（1604年〜）
1594年　**蠣崎慶広**が豊臣秀吉から蝦夷ヶ島南部の支配権を認められる
※安藤〔安東〕氏から独立。
1599年　さらに徳川家康から蝦夷地支配を認められ**松前氏**と改称

1604 年　家康が蝦夷地統治の条令３箇条を定め松前慶広に与える

※〔5　　　　　　　〕との交易独占権を保障され松前藩を形成。

〔6　　　　　　　　　　　〕を採用し，

米・酒・塩とサケ・鰊・昆布などを交換。

②和人〔シャモ〕へのアイヌの抵抗

1669 年　〔7　　　　　　　　　　　　　〕**の戦い**

※商場の設置などにより自由に交易できなくなったこと，

「アイヌ勘定」と呼ばれる不利な交易条件などが原因。

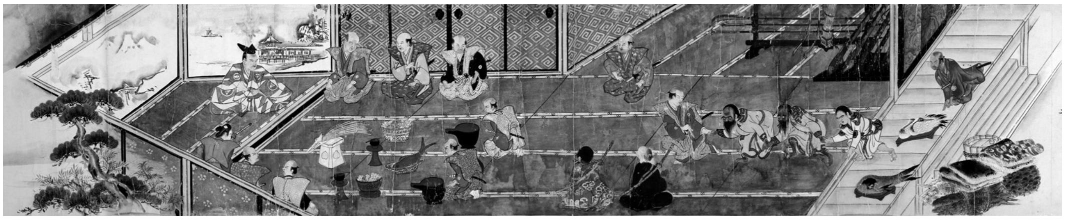
※津軽藩の援軍を得た松前藩が，砦〔チャシ〕を落としようやく鎮圧。

以後，18 世紀前半までに〔8　　　　　　　　　　　〕に転換。

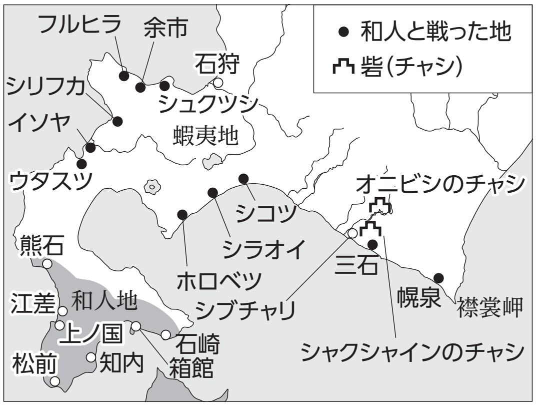
※アイヌを服従させた松前藩は，１万石格として大名扱いされる。

1789 年　クナシリ・メナシの戦い〔クナシリ島の蜂起〕

※アイヌ最後の大規模な抵抗。



アイヌの松前藩主への参賀の礼



蝦夷地への和人の進出

まとめ　薩摩藩の琉球支配は「日中両属」形式と将軍への挨拶だった。
松前藩の蝦夷地統治は商場知行制のち場所請負制度で強まっていった。

第 11 講　PART6　確認問題

1 1636 年，ホンタイジが内蒙古を従え，国号を何と改めたか。

① 明　② 秦
③ 清　④ 後金

2 オランダとの貿易で，日本が多く輸入したのはどれか。

① 漆器　② 海産物
③ 樟脳　④ 生糸

3 幕府と朝鮮との講和が実現した際，
仲介となり己酉約条〔慶長条約〕を結んだのは何氏か。

① 松前氏　② 宗氏
③ 毛利氏　④ 島津氏

4 朝鮮から多く輸入されたのはどれか。

① 薬品　② 書籍
③ 漆器　④ 木綿

5 幕府の許可を得て，琉球に侵攻したのはだれか。

① 島津家久　② 島津義弘
③ 島津貴久　④ 島津義久

6 琉球王国が，将軍の代替わりごとに江戸に派遣した使節を何というか。

① 通信使　② 慶賀使
③ 冊封使　④ 謝恩使

7 1594 年，豊臣秀吉から蝦夷ヶ島南部の支配権を認められたのはだれか。

① 角倉素庵　② 久隅守景
③ 西山宗因　④ 蠣崎慶広

8 1669 年，アイヌの人々が交易をめぐって松前藩に抵抗し，
乱を起こすも敗れた戦いを何というか。

① コシャマインの戦い　② クナシリ・メナシの戦い
③ シャクシャインの戦い　④ 関ヶ原の戦い

第 11 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：③　漢族の明は, 農民反乱軍により 1644 年に滅亡した。北京に遷都した**清**は, 中国史上最大の帝国となった。

2 解答：④　①の漆器と③の樟脳〔カンフル〕は，日本からオランダへの主な輸出品である。②の**海産物**は，日本から中国への主な輸出品。

3 解答：②　1609 年，朝鮮〔李朝〕と対馬藩宗氏が**己酉約条〔慶長条約〕**を結び貿易を再開させた。

4 解答：④　宗氏が貿易を独占して**朝鮮人参**や木綿を輸入した。

5 解答：①　島津家久は，首里城を落として国王**尚寧**を服属させ，与論島以北は薩摩藩領となった。

6 解答：②　①の通信使〔**朝鮮通信使**〕は朝鮮から江戸に派遣された使節，④の**謝恩使**は琉球の国王の代替わりごとに江戸に派遣された使節。

7 解答：④　蠣崎慶広は，豊臣秀吉，さらに徳川家康から蝦夷地支配を認められ**松前氏**と改称した。

8 解答：③　①コシャマインの戦いは室町時代に起こった，アイヌの人々と和人との戦い。②クナシリ・メナシの戦いは 1789 年に起こった，アイヌ最後の大規模な抵抗である。